

## ご挨拶

——二〇二一年度深浦円覚寺古典籍保存調査プロジェクト報告書に寄せて——

深浦町長 吉田 満

まずは、昨年に引き続きオンラインではありますが、「弘前大学深浦エコサテライトキャンパス 二〇二一年度深浦円覚寺古典籍保存調査プロジェクト成果報告会」が無事に開催され、本報告書第四集がこのように発行されますことを心よりお祝い申し上げますとともに、一言ご挨拶申し上げます。

青森県では八月後半から新規感染者が増加したことを受け、「青森県新型コロナウイルス感染症緊急対策パッケージ」を発表し、不特定多数の人が集まる行事・イベントは原則中止或いは延期とする対策を講じ、当町におきましても県の取り扱いに準じた対応いたしました。このような状況のため、円覚寺古典籍調査は一度も開催することができず、調査会の皆さんにとっては残念なお気持ちで過ごされたことと存じます。

しかしながら、これらの資料群が、中世以降の東国における真言密教の布教の具体性がわかり、弘前藩における宗教政策及び領内の諸寺院の活動や相互の関係が推測できる貴重なものと評価され、今年四月、県重宝に指定されましたことは、大きな喜びを与えてくれたものと御推察いたします。われわれ町民にとりましても、大変喜ばしいニュースであり、長年にわたり調査に携わってこられた弘前大学人文社会科学部プロジェクトチームの皆様の御尽力に、あらためて敬意を表するものです。また、われわれは、円覚寺の歴代住持が長い歳月にわたり、蓄積してこられたこのかけがえのない知識の宝を、次世代へ伝えるため保護に努めなければならぬものと実感しております。

最後に、本プロジェクト事業にご協力いただいている、弘前大学・福田眞作学長、エコサテライトキャンパス所長・石川隆洋理事をはじめとする、関係各位に心から感謝申し上げます、ご挨拶いたします。

(令和四年一月吉日記)